

【実験15:ピンポン玉、どうなる?】

— 推奨クラス:ミドルクラス・アドバンスクラス —

■実験の流れ

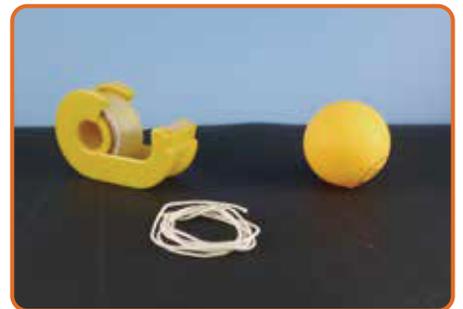
水道(すいどう)の「じゃ口」から流(なが)れる水に、ひもでつるしたピンポン玉を近(ちか)づけていきます。そして、水がボールに当(あ)たり始(はじ)めると…。

■用意するもの

ピンポン玉、セロテープ、水道の流し水
ひも(30センチメートルくらい)

■実験の手順

- ①ピンポン玉にセロハンテープで「ひも」を固定(こてい)します。
- ②じゃ口を開(あ)けて、水を流します。
- ③ひもでつるしたピンポン玉を、流れる水に近(ちか)づけていき、水についたときにどうなるかを観察(かんさつ)します。



【実験を始める前に】

■実験を始める前に実験のやりかたをよく読(よ)んで、さいごにどうなるか、考えて(予想:よそうして)みましょう!

[]

【実験が終わったら】

■予想したこと、実験の結果(けっか)は同(おな)じでしたか? もしちがっていたら、その理由(りゆう)を考えましょう。

[]

【考えるヒント】

- ①流れる水にピンポン玉をできるだけ近づけて、水にふれる前(まえ)のピンポン玉の動(うご)きを観察(かんさつ)しましょう。
- ②細長(ほそなが)く切(き)った紙(かみ)を、同(おな)じように流れる水に近づけて見(み)ましょう。紙は、どうなるでしょう?
- ③流れる水のすぐそばで、何(なに)が起(お)きているのでしょうか?